

3 回戦	7 月 8 日 (水)
4 回戦	8 月 19 日 (水)
ラウンド 16 (5 回戦)	10 月 14 日 (水)
準々決勝	11 月 3 日 (火・祝) ・ 4 日 (水)
準決勝	12 月 19 日 (土)
決勝	1 月 1 日 (金・祝)

※今後の調整により、開催日が変更になる可能性がある。

〔参考／変更前の競技会形式〕

7 回戦制 88 チーム出場

※J1・J2 は、2 回戦 (R64) から出場

※アマチュアシード・都道府県代表は、1 回戦から出場

3. 選手の用具に関する運用緩和の件

(決議) 資料1

グラスルーツの様々な現場において選手が大きな負担なくサッカーを楽しめる環境とするため、ユニフォーム等の選手の用具に関する運用が緩和されるよう、次の手順で制度を変更したい。

■手順

1. 本理事会にて承認後、別紙の「選手の用具に関する運用緩和について」の通達を地域・都道府県サッカー協会および各種連盟に発信
2. 2020 年 4 月より JFA 主催大会の大会要項において運用緩和を開始
3. 2020 年 10 月理事会においてユニフォーム規定を改定

■検討の経緯

ユニフォーム等の選手の用具の運用に関して、全国大会のルールがそのままグラスルーツの地区レベルの大会まで及んでいるケースがあり、チームや選手、保護者から「運用が厳しすぎる」という意見が多く寄せられている。本来であれば、グラスルーツの競技会においては大会要項に規定することで状況に応じて柔軟に対応可能であるが、実際は「日本サッカー協会の規程に準ずる」等、全国大会レベルのルールがそのまま適用されていることが多い。

このような現状を見直すため、グラスルーツの競技会において全国大会と同様の厳しい運用を行うことの妥当性や一部の競技会で運用を緩和した場合の影響、緩和の程度等について、競技会委員会の各種大会部会や審判委員会等において検討を重ねた。その結果、現行のユニフォーム規程からユニフォームの運用に関する条項を削除し、ユニフォームの運用だけでなく、競技規則であるアンダーウェアやソックステープの色も大会要項に明記することで運用緩和できるようにする。

4. 各種規則 改正の件

(決議) 資料2

以下のそれぞれの規則を改正したい。

【主な改正点】

(1) 競技会規則

競技会名称と掲載順を変更する。

(2) 個人情報保護規則

- ・ 総務部を個人情報管理を統括する部門とし、各部における管理ルール遵守を監督する。
また、各部における責任者を明確にし、管理を徹底する。
- ・ 法令の改正等に適宜対応するため、理事会決議ではなく、会長決裁で改正可能とする。

(3) 各種委員会組織運営規則

- ・ 監査・コンプライアンス委員会を「コンプライアンス委員会」に改称し、委員会の役割を明確化する。
- ・ アスリート委員会を新設する。

5. 役員等予定者選出の件

(決議) 資料3